

南スーダン独立後初の総選挙に向け、前橋市の主権者教育をお手本に！

南スーダンからの研修員が12月9日(金)の選挙体験教室を見学

南スーダンは、2011年のスーダンからの分離独立以降、度重なる国内の紛争により、不安定な国政が続いていました。そんな中、2018年に和平合意が締結され、2024年末に独立後初の総選挙が実施される予定です。その国を挙げての初の選挙に対する国民の理解を得る取り組みを実施するため、前橋市の選挙体験教室を「お手本」として見学します。

国際協力機構(JICA)は、南スーダン共和国に対する政府開発援助(ODA)として、民主主義の根幹となる選挙を自由で公平なものにするため、「選挙管理支援」についての本邦研修を11月30日(水)から12月16日(金)まで実施します。参加する研修員(12名)は、選挙管理委員や事務局長をはじめとする南スーダン選挙管理委員会の責任者や南スーダンの公共放送局¹の職員です。彼らは、2024年末に予定している初の総選挙に向け、日本の選挙の歴史や知見について学びます。

研修の一環として、12月9日(金)実施の前橋市立二之宮小学校での選挙体験教室を見学し、選挙が比較的身近でない若い世代に選挙の重要性を伝える手法を学びます。

研修期間中は講義やディスカッションを通して、日本での選挙や主権者教育、メディアによる報道の仕方について学ぶ機会を十分に設けています。これらの座学に加えて、今回の見学は、実際の主権者教育の現場を自分の目で確かめることでその学びを深め、自国での教育に生かすことができるよう、前橋市選挙管理委員会、前橋市選挙管理委員会事務局など、関係の皆様の協力を得て企画・実施します。

南スーダン独立後初の国政選挙に向けて、前橋市での主権者教育をお手本に学ぶ機会について、取材をぜひご検討ください。

【取材概要】

(1) 日時: **2022年12月9日(金) 13:50~15:30**

時間	概要
13:50~	研修員挨拶(5分程度を予定)
13:55~15:30	選挙体験教室見学(体験の様子を会場後方から見学)

(2) 留意事項:

- ・対応可と確認できた研修員(当日JICAよりお伝えします)への撮影・取材が可能です。
通訳(日・英)はJICAが対応します。
- ・見学中の児童の顔を撮影することはお控えください。

¹ [南スーダン放送局組織能力強化プロジェクト | ODA見える化サイト \(jica.go.jp\)](https://www.jica.go.jp/project/sudan/)
現在はプロジェクトのフェーズ2を実施中

【本件に関する取材申込み・問い合わせ先】

ご取材いただける場合、12月8日 正午までに、以下にご連絡ください。

JICA 東京 産業開発・公共政策課 船越陽香

TEL 03-3485-7635 e-mail: Funakoshi.Yoka@jica.go.jp